



子どもの気管支炎

熱や鼻水、咳、咽頭痛などの風邪がなかなか改善せず、夜間の咳嗽発作で眠れない時、気管支炎や肺炎かなと不安になります。子どもの場合はなかなか自分で症状を訴えることができず、保護者は余計に心配になります。今回は子どもの気管支炎についてお話しします。

ウイルスや細菌が気管支に感染して起こる病気が気管支炎です。

多くは風邪症状に引き続いておられます。熱と痰のからんだひどい咳が出ます。乳幼児から小児期全般にみられ、冬に多いですが一年中起こります。

今、話題の新型コロナウイルス、ライノウイルス、RSウイルス、インフルエンザウイルス、アデノウイルスなど、9割がウイルスによります。中国や韓国で流行中のマイコプラズマ肺炎や肺炎球菌、インフルエンザ菌などの細菌も原因となります。

乳幼児の2歳未満(特に6カ月未満)ではRSウイルス感染で細気管支炎、肺炎を起こしやすく注意が必要です。

どの年代でも気管支炎の危険なサインをあげてみます。

- ☐ 呼吸が多く、ゼイゼイ、ヒューヒュー苦しそうな呼吸をする
- ☐ 鼻が膨れたり縮んだり、息を吸うときに首の正面やあばらの間がへこむ呼吸
- ☐ 肩で息をしたりうめくような呼吸、激しく咳き込む、嘔吐する、水分がとれない

このような症状が見られたら、すぐにお医者さんへ行ってください。